

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修

研修1 妊産婦のメンタルヘルスケアと産後ケア事業に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

出産・子育てをめぐる環境の変化が進む中、支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、支援につなげていくことが求められている。また、妊娠・出産を機に、母親にメンタルヘルスの不調がもたらされることがあり、産後ケア事業等において、出産後の母親の身体的回復や心理的な安定を促進するとともに、安心して子育てができるよう、妊産婦への利用促進に向けた普及・周知が望まれる。本研修では、周産期のメンタルヘルスに関する基礎知識や関係機関との連携及び産後ケア事業の事例を学ぶことで、地域特性に合わせた事業を実施するとともに、心身の不調や育児不安を抱えた母親を適切な支援につなげていくことを目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者及び自治体において産後ケア事業を中心的に担っている方（または産後ケア事業の実施に向けて中心的な役割を担っている方）
- ・自治体の委託を受けている産後ケア事業実施施設の職員

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年9月12日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年9月26日（月）～10月26日（水）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 妊産婦のメンタルヘルスケア	千葉大学社会精神保健 教育研究センター/医療 法人学会木村病院 渡邊 博幸 氏	10:05～ 11:05	母子保健活動において必要な周産期におけるメンタルヘルスの基礎知識と実際の対応について
③	講義 産後ケアの必要性と その実際	あきやま子ども クリニック 秋山 千枝子 氏	11:10～ 12:10	産後ケア事業の必要性やその実際について
④	事例紹介 産後ケア事業の実際 山梨県での実施	山梨県子育て支援局 子育て政策課 大船 朋美 氏	13:00～ 13:30	山梨県における産後ケア事業展開の役割について紹介
⑤	事例紹介 富山市産後ケア事業 の取組と、広域連携 市町村からの受け入れ について	富山県富山市 こども家庭部 こども健康課 副主幹 高木 絹枝 氏	13:35～ 14:05	富山市の広域受け入れの取組の現状と課題について紹介
⑥	グループワーク 産後ケア事業の現 状・課題、課題解決に 向けて	(ファシリテーター) あきやま子ども クリニック 秋山 千枝子 氏	14:15～ 16:15	各自治体における、産後ケア事業の現状と課題の共有及び課題解決の方策についてグループワーク

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～⑤までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修2 NIPT等の出生前検査に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）については、日本産婦人科学会が策定した指針を受け、平成25年から関係学会等の連携の下、日本医学会の認定制度に基づき実施されてきた。

しかしながら近年様々な情報がインターネット上において発信されており、誰もが容易に出生前検査に係る情報へのアクセスが可能となっているが、信憑性を欠く情報も散見される。出生前検査の情報提供は特定の専門家のみが関わるのではなく、自治体の相談窓口等においても、妊婦等に対する正しい情報の提供や、都道府県等においては性と健康の相談センター事業などを活用した、出生前検査に係る相談窓口の整備が求められている。また、情報提供にあたっては、トリソミーと診断された方々やその家族に十分に配慮することが必要であり、障害福祉部局と連携し出産後の支援を行うことも重要である。

本研修では、NIPT等の検査及びトリソミーのある方の暮らしについて正しく理解することで、悩みや不安を持つ妊婦や家族等への支援が適切に行えることを目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者及び障害保健福祉担当者
- ・性と健康の相談センター事業*担当者及び自治体の委託を受けている事業実施施設職員
※女性健康支援センター事業や不妊相談センター事業を組み替えたもの

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年10月5日（水）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年10月19日（水）～11月18日（金）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	10:00～ 10:30	最近の母子保健行政の動向
②	講義 NIPT 等出生前検査 の基礎知識	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	10:35～ 11:05	NIPT 等出生前検査の基礎知識について
③	講義 出生前検査における 自治体での支援	北九州市 堀 優子 氏	11:10～ 12:10	自治体における出生前検査に関する情報提供 と保健師として求められる役割について
④	講義 NIPT の対象となる トリソミーについて	関西大学人間健康学部 人間健康研究科 植田 紀美子 氏	13:00～ 14:00	13、18、21 トリソミーについての知識と自治 体の保健師による支援について
⑤	グループワーク トリソミーのある子 どもへの支援（家族 支援含む）について	（ファシリテーター） 関西大学人間健康学部 人間健康研究科 植田 紀美子 氏	14:10～ 16:00	家族支援も含めた母子保健と障害福祉部門と の連携の現状と課題について

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～④までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修3 母子保健施策を通じた児童虐待予防に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

母子保健を取り巻く状況は、従来の母子保健が担ってきた役割やその範囲が広がるとともに複雑になってきている。特に、児童虐待予防においては、妊娠期から母子保健担当者が切れ目なく関わることは重要とされ、出生後の新生児訪問や乳幼児健康診査等の母子保健事業と併せて各関係機関とのより一層の連携強化が求められている。日頃から各関係機関と連携して子どもとその家族への支援を行うためには、それぞれの役割を理解しておくことは重要であり、本研修では、各関係機関の保健師等の役割について理解し、日頃から連携を図るとともに児童虐待防止に活かすことを目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者及び児童福祉担当者
- ・児童相談所保健師
- ・性と健康の相談センター事業*担当者及び自治体の委託を受けている事業実施施設職員
※女性健康支援センター事業や不妊相談センター事業を組み替えたもの

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年10月24日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年11月7日（月）～12月6日（火）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 妊娠期からの児童虐待 予防の取組	あいち小児保健医療総 合センター 山崎 嘉久 氏	10:05～ 11:05	妊娠期のアセスメント（アセスメントシートの 紹介と活用を含む）とハイリスク妊婦・特定妊 婦への支援について
③	講義 児童相談所保健師の 役割と市町村母子保 健担当との連携	神奈川県小田原児童相 談所 山本 恵子 氏	11:10～ 12:10	児童相談所保健師の役割と実際、市町村の母子 保健担当者との連携について（特定妊婦（要対 協での連携）や出生後の支援についての事例、 担当者会等の取組も含む）
④	事例紹介 性と健康の相談セン ターにおける特定妊 婦支援の実際	NPO法人 MCサポー トセンターみっくみえ 松岡 典子 氏	13:00～ 13:30	性と健康の相談センター事業での特定妊婦支 援に重点を置いた相談から支援の事例紹介
⑤	事例紹介 地域における母子保 健と児童福祉部門と の連携	大阪府高槻市 子ども未来部 子ども保健課 副主幹 山下 典子 氏	13:35～ 14:05	大阪府高槻市における母子保健と児童福祉の 連携（母子保健の視点から）について
⑥	事例紹介 児童虐待対応医療ネ ットワーク事業の紹 介	埼玉県立小児医療セン ター 地域連携・相談支援セン ター 紫藤 直美 氏	14:10～ 14:40	埼玉県における児童虐待対応医療ネットワー ク事業の概要と関係機関との連携事例の紹介
⑦	グループワーク ハイリスク母子への 対応及び母子保健と 児童福祉部門の連携 の実際	（ファシリテーター） 大阪公立大学大学院 横山 美江 氏	14:50～ 16:50	母子保健活動の中で関わりが難しいハイリス ク母子への対応の課題や母子保健と児童福祉 部門の連携の実際について検討。連携して上手 く対応できた例の共有、困難を感じる点、今後 その課題をどのように解決するかグループワ ークを実施

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～⑥までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修4 性と健康の相談（プレコンセプションケア）に関する研修 実施要領

1. 研修の目的

令和3年2月に閣議決定された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」では、「男女を問わず、相談支援や健診等を通じ、将来の妊娠のための健康管理に関する情報提供を推進するなどプレコンセプションケア（※）に関する体制整備を図る。」と記載されており、今後、性・生殖に関する正しい知見の普及や相談の場の提供等を推進する必要がある。本研修では、講義やグループワークをとおして、プレコンセプションケアに関する基礎知識等を習得し、性に関する正しい知識の普及啓発や性に関する相談の場の確保など、自治体におけるプレコンセプションケアの体制整備の推進に寄与することを目的とする。

※女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組をいう。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者
- ・性と健康の相談センター事業※担当者及び自治体の委託を受けている事業実施施設職員
- ※女性健康支援センター事業や不妊相談センター事業を組み替えたもの

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信なし。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年9月26日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年10月11日（火）～11月10日（木）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 妊娠前の健康管理	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 診療部長 荒田 尚子 氏	10:05～ 11:05	妊娠前からの健康管理の必要性やその具体的内容について
③	講義 乳幼児期から思春期の性に関する相談支援	都立松沢病院精神科／ 国立成育医療研究センター総合診療部 阪下 和美 氏	11:10～ 12:10	乳幼児期から思春期までの発達を踏まえたプレコンセプションケアの必要性と相談支援の方法について
④	講義 様々な年代のプレコンセプションケアを考える ～児童相談所が関わる事例から～	大阪府中央子ども家庭センター 仁木 敦子 氏	13:00～ 14:00	児童相談所で関わる事例から、様々な年代の性に関する課題と性教育の実際等を紹介する
⑤	事例紹介 母子保健推進協議会から生まれた「生と性のカリキュラム」 ～心豊かにいきいきと生きる力を持つ子どもの成長につなげていくために～	愛知県小牧市保健センター 所長 野口 弘美 氏	14:05～ 14:50	「生と性のカリキュラム」について、その取組のきっかけや具体的内容を紹介。
⑥	グループワーク 効果的かつ実施可能なプレコンセプションケア・キャンペーンを考える	(ファシリテーター) 都立松沢病院精神科／ 国立成育医療研究センター総合診療部 阪下 和美 氏	15:00～ 17:00	公衆衛生的介入を行う方法のひとつに「キャンペーン」がある。乳児期から思春期までのプレコンセプションケアについて、具体的にどのように情報発信していくか、対象と手段を考えながら、グループでアイデアを出し合い、実際にキャンペーンを作成する。

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～⑤までを編集し配信

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修5 子どものこころの問題に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

「健やか親子21（第2次）」において「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」を重点課題として掲げており、親子が発信する様々な育てにくさのサインを受け止め、丁寧に向き合い、子育てに寄り添う支援の充実を図ることとしている。しかし、「健やか親子21（第2次）」中間評価等に関する検討会報告書においては、学童期からの個人への対策のみならず、親を含む家族のこころの問題への支援が必要であり、子どもの発達特性も踏まえた上で、医療機関、行政機関、教育機関、民間機関における多職種の連携を深めて行くことが必要であるとされている。本研修では、子どものこころの問題や発達についての知識を身につけることにより、育てにくさを感じる親子に対して、早期の段階から支援が届くよう、必要な知識と技術を習得することを目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村の母子保健担当者
- ・障害保健福祉担当者

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年11月10日（木）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年11月24日（木）～12月23日（金）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 健やか親子21における子どもの心の健康対策	山梨大学大学院 山縣 然太郎 氏	10:05～ 11:05	子どもの心と親子の関係性について
③	講義 子どもの心の診療ネットワーク事業の取り組み	国立成育医療研究センター 副院長 ころろの診療部統括部長 小枝 達也 氏	11:10～ 12:10	様々な子どもの心の問題、被虐待児の心のケアや発達障害、災害時の子どもの心の支援体制について
④	事例紹介 育てにくさを抱えた親子を支える三鷹市の取り組み ～家庭の子育て力向上を目ざして～	東京都三鷹市健康福祉部健康推進課 小島 美保 氏	13:00～ 13:30	三鷹市が挑戦する「親としての育ち」・「親子の愛着関係」を支える仕組みづくりについて紹介
⑤	グループワーク 子どもの心の問題に関する現状と課題	国立成育医療研究センター 副院長 ころろの診療部統括部長 小枝 達也 氏 国立成育医療研究センター 山岡 忍 氏	13:40～ 15:40	育てにくさを含む子どもの心の問題についてロールプレイでの実践や各自治体の現状と課題について検討

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～④までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修6 データを活用した母子保健施策に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

現在、各自治体において「健やか親子21（第2次）」の推進、母子保健計画における「健やか親子21（第2次）」の指標を踏まえた目標設定を依頼しており、成育医療等基本方針に基づく施策の実施状況に関する評価指針においては、「健やか親子21（第2次）」の指標が活用されている。各自治体は、その地域の特性に応じた施策を策定し実施する必要がある。その際、施策の実施状況等を客観的に検討・評価し、必要な見直しにつなげるPDCAサイクルに基づく取組を適切に実施する必要がある。本研修では、母子保健データの利活用の知識を身につけ、地域においてPDCAサイクルを適切に構築することで、自治体における事業の評価・立案等に活かすこと目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村の母子保健担当者

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年11月28日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年12月12日（月）～1月11日（水）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:05	最近の母子保健行政の動向
②	講義 母子保健情報の利活用 の視点と地域連携	山梨大学大学院 山縣 然太郎 氏	10:05～ 11:10	母子保健情報の利活用における視点、マイナポータル利活用のあり方と地域連携について
③	講義 母子保健情報の活用 と評価ー地区診断と PDCAー	国立保健医療科学院 上原 里程 氏	11:10～ 12:10	母子保健情報の活用と PDCA サイクルに基づく取組について
④	事例紹介 尼崎市学びと育ち研 究所における EBPM の実践	尼崎市こども青少年局 江上 昇 氏	13:00～ 13:45	尼崎市の学びと育ち研究所の紹介および、データ活用による取組について
⑤	グループワーク 各自治体における母 子保健データの活用	山梨大学大学院 山縣 然太郎 氏	13:55～ 15:55	各自治体の母子保健情報に関する現状や課題を踏まえ、今後の活用等についてグループワーク

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～④までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修7 児童福祉施設給食関係者研修

実施要領

1. 研修の目的

生涯にわたる健康づくりの基盤の確保は重要であり、子どもの健やかな成長・発達を支援する観点からも、各地域や児童福祉施設（以下「施設」という。）における栄養管理の改善、食育の推進等が必要である。本研修では、各都道府県・市町村における施設の栄養管理担当者及び施設における給食や栄養管理等に携わる関係者が、施設における栄養管理や食育に関する最新の知見や動向を理解し活用できるようになること、食事の提供の質を向上すること、保護者等に適切な情報を提供すること等を目的として実施する。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・児童福祉施設給食関係者等で指導的立場にある方

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年11月2日（水）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年11月16日（水）～12月15日（木）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健・児童福祉 施策等の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	10:00～ 10:30	最近の母子保健・児童福祉行政における栄養・ 食生活に関する施策等の動向
②	講義と事例紹介 乳幼児期の栄養・食 生活の支援（1）	新潟県立大学人間生活 学部 村山 伸子 氏 （事例紹介） 静岡県浜松市こども家 庭部幼児教育・保育課 神谷みどり 氏 静岡県浜松市立寺島保 育園 齋藤直美 氏	10:35～ 12:05	保育所、乳児院、児童養護施設等児童福祉施設 における栄養管理等について
③	講義と事例紹介 乳幼児期の栄養・食 生活の支援（2）	女子栄養大学栄養学部 衛藤 久美 氏	13:00～ 14:30	自治体や保育所等児童福祉施設における、乳幼 児や保護者への栄養・食生活の支援等について
④	事例紹介 保育所における食物 アレルギー対応に関 する取組について	愛知県大府市役所 幼児教育保育課 稲垣 七重 氏 荒池保育園 田中 あや 氏	14:35～ 15:10	自治体による保育所等における食物アレルギー 対応の支援と、自治体の支援を踏まえた管内 の保育所等での食物アレルギー対応について 取組事例を紹介
⑤	グループワーク 給食を通じた、食べ る力を子どもにはぐ くむ支援について	（ファシリテーター） 新潟県立大学人間生活 学部 村山 伸子 氏	15:20～ 17:20	所属する組織の栄養・食生活支援に関する方針 を踏まえつつ、それぞれの現状や課題に対して どういった支援が考えられるか等についてグ ループワーク

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～④までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。